

日本共産党  
足立区議団ニュース

2006 3 10  
No. 6

日本共産党足立区議団  
中央本町1-17-1 足立区役所内  
e-mail:acmp@blue.ocn.ne.jp  
区議団ホームページ  
http://www.cpi-media.co.jp/adaci

# 区内の公共交通網の充実 「歩いて暮らせるまち」づくり

予算特別委員会は10日、最終日を迎え、日本共産党は、松尾かつや、大島芳江、鈴木けんいち議員の総括質疑とともに、予算組換え提案、討論を行いました。松尾、大島、鈴木議員の質問要旨をお知らせします。

**松尾かつや議員の質問の要旨は次のとおりです。**

**西新井西口へのイトーヨーカドー進出は交通渋滞・環境悪化に影響**



質問する松尾かつや議員

○質問―交通政策について質問します。日曜日の午後、日光街道と環7のところから車の渋滞になっていた。

事故かと思っただが、大谷田陸橋近くまで行くとイトーヨーカドーの駐車場まで約90分の建て看板を持ってガードマンが立っていた。亀有のイトーヨーカドーの開設は、足立区内のど真ん中にまで交通渋滞を巻き起こす大きな影響となった。西新井駅西口のイトーヨーカドーはさらに床面積が広く、にもかかわらず駐車台数は500台も亀有より少ない。開店となった場合、今でさえ渋滞箇所であるのにこれに加えた相当の渋滞と大気汚染の悪化が起きることが予想される。これに対する区の見解、対応、また、関原など近隣の路地に自動車が入りこまないような対応も必要だがどうか。

○質問―これまで環境アセスを2回、区から意見を上げていた。大気汚染については、業者側の予測値は大きな数値が出されていない。しかし、アイドリッグストップ、排ガス規制防止や植栽等、さらなる努力を求める。アリヨ（亀有イトーヨーカドー）の開店状況を参考に渋滞の検討と交通対策に努力するよう求める。

**区の公共交通網の充実は高齢者の介護予防の観点からも重要**

○質問―国土交通省のアドバイザー会議報告書は、鹿児島市、旧静岡市が公共交通機関の利用者が多いことに注目し、両市に共通しているのは公共交通が充実している点。鹿児島市は路面電車とバス、静岡市はJR、私鉄、バスが市民の足として機能。高齢者にやさしい「歩いて暮らせるまち」に、交通は重要な役割を担っていることが判明、同時に自動車に過度に依存する都市構造が免許非保有者にとって外出の制約になっていると述べている。

まさに、公共交通網の充実が、足立区に暮らす人々の移動手段であると共に、高齢者にとっては自宅に引きこもらない、介護予防の観点からも重要な視点の一つともなる。区の交通網整備の現状と、今度の方向性はどうか。

●答弁―コミバスについては小台、宮城、北千住の循環と綾瀬から亀有の路線が実施された。

○質問―既存のバス路線もあるからいいではなく、現状をよく調査した上で、利便性の向上に向け努力することは非常に大事なことになる。区は運行本数の目標値として往復100本程度をおよその目標値とするとしてきた。まさにこの目標をめざし、区として積極的取り組みでもらいたいと考えているが、この点どう取り組むのか。

●答弁―既存のバス路線の増発については、乗客が少ない路線もあるが、充実を求めて事業者と機会をとりえて求めていく。

**スイカ・パスネット・バスカードの共有化でコミバスにも使用できるように**

○質問―来年3月からスイカ、パスネット、バスカードの共用化を開始するとの共同会見が昨年12月に行われた。この共有化についてはわが党としても区民からの要望が強いとのこと、予算要望などで関係機関に要請してほしいと区に求めてきた。

この共有化にたいしてバスの場合、車両にIC乗車券の情報を取り取って処理する車両搭載機器を設置する予定となっている。国土交通省はこうした共通化のコストが具体的に固まり、事業者から正式に支援要請があれば支援の比率や時期、関係する地方公共団体との調整に入るとして、今回国の新年度予算に盛り込んだ。



この間足立区を走るコミバスについても「バスカードが何かと使えるようにしてほしい」といった声が数多く寄せられていたが、こうした動きの中で、一緒に参加できるような区としても積極的に取り組んでもらいたい。先の特別委員会、参加予定のコミバスについて答弁をいただいたが、改めて、参加予定の区内コミバスの路線、また、現在参加する予定が未定となっている路線はどこで、それに対する区としての対応はどうか。

●答弁―IC共通カードへの参加予定は新日本以外の4事業者（東武、朝日、日立交通、国際工業）。国の予算につきましては自動車交通局並びに道路局で30億と5億の予算がついている。具体的には導入に関する支援という情報を収集する。

○質問―よろしくおねがいする。



# 子育て支援

# 子ども医療費—中学生までの無料化を検討 認可外保育園の保護者負担軽減—19年度実施へ

## 子育て支援は総合的 施策の推進が必要

鈴木けんいち議員の質問の要旨は次のとおりです。

○質問—少子化がすすむ中で、真の子育て支援が求められている。本日の新聞では、18歳の長男、公立高校の長女、小学2年生の二女の3人のお子さんを抱えたひとり親家庭であるが、やっと見つけた仕事の手取り13万円、それに児童扶養手当月4万8000円の生活



質問する鈴木けんいち議員

で非常に苦しい。

小二の子どもが病気になった時は特に大変だった。13万円の収入を上げようと思ってもひとり親家庭向けの研修を受けても、正規に職員になれるのか、給料が上が

るのか見通しがない。若者の不安定雇用の解決、職場での男女平等や産休・育休がとりやすい環境づくり、経済的支援、保育制度の充実など子育て支援は総合的にすすめていくことが必要と思うがどうか。

○質問—昨年、1年間の出生数が死亡より1万人少なく、人口が減ることがわかった。人口の自然現象は統計を取り始めて以来初めてのこと。少子化に歯止めがかからないことが大きな要因。これは子育て支援に逆行することを政府・小泉政権がやっているから。若者の不安定な雇用は問題にするけれど、「規制緩和」を行って不安定な雇用を一層広げ、経済的支援が必要と

いいながら、公立保育所への国の責任を後退させ、保育料値上げの方へ誘導。足立区もこうした流れに乗って保育料の値上げをすすめてきたのは子育て支援に逆行するものだ。  
国立大学の学費は値上げ、世界から高学費の転換を迫られている上、定率減税の縮小・廃止などの増税で子育て世代への経済的負担が重くのしかかっている。こうした中で、わが党は子育て世代への経済的支援が緊急に重要だと考えて、次世代育成クーポンの提案をおこなっているが、経済的支援は子育て支援の柱だと思っ

がどうか。  
○答弁—少子化に歯止めをかけるためには、労働政策をはじめ経済的支援をしないと歯止めがかからない。経済的支援は国の方で行うべき、基礎的自治体は子育て支援の環境づくりをすすめること。

## 子ども医療費助成 早期に中学生まで拡大せよ

○質問—自治体の責務をふみはずした答弁だ。都内23区内でも子育て支援で経済的支援をしているべき。

次に子ども医療費助成を中学生まで拡大することについて、わが党は、議会質問はもとより、昨年は予算くみかえ案を提出して、さらに条例案も提出して、中学生までの医療費の無料化を求めてきた。残念ながら、予算組み替えも条例案も否決されたが、その後小学3年生までの入院費を助成することが決まった。わが党は一步前進としてこれに賛成し推進してきたが、やはり中学生までの要望は強いものがある。

先日足立区が小学3年生まで拡大することをお知らせしたら、二人のお子さんのお母さんから、「ぜひ中学生までやってほしい。収入が減っているのに医療費がかかって大変」と訴えられた。23区内で18区が小学生以上に拡大している。その内10区は中学生までの助成に踏み出している。本当にやる気なら、財源的にも、1億円程度で足を踏み出すことはできるし、都からお金を取ってくることもやって、足立区も子ども医療費助成を中学生まで拡大していくべきだがどうか。

○答弁—乳幼児医療費の拡大については必要な事だと考えている。都の所得制限も緩和されてくるので段階的に検討する。

## 小児救急医療体制の確立に むけ医師会との協議を

○質問—早急に検討し、早期に実施をしていくべき。次に小児救急についてだが、小児科が減っている中で子どもを持つ家庭では病気の時の不安も高まっている。こういう中で夜間でも受けられる小児救急診療体制の拡充確立が、区民の大きな願いだ。小児救急医療体制の確立にむけ、区は医師会とよく協議し、早期の実現に一層力を尽くすべきと思うがどうか。

○答弁—基本的にはそのとおり。初期診療、夜間10時までできるだけやれるよう医師会と協議する。

○質問—認可保育園と保育室や認証保育所の認可外保育園とは保育料は、平均でどのくらいの差があるか。

○答弁—認可保育園では平均15000円弱。認証保育園では42000円、保育室と25000円ほどの開きがある。

○質問—足立区は昨年保育料を値上げすること、認可保育園以外の保育室や認証保育所の保育料・保護者の負担を軽減して、こうした格差を是正すると約束したではないか。ところがいまだにそれが実施されていない。こうした軽減策はわが党の試算では1人毎月1万円づつ補助しても9000万円程度でできる。

わが党は保育料の値上げについては子育て支援に逆行するものであり反対したが、強行した。それなら約束の認可外保育所の保護者負担軽減策をただちに実施すべきだがどうか。

○答弁—認証保育の助成制度は、19年度実施の方向で、18年度財源も含めて検討しています。

○質問—いまさら財源というのはおかしい、値上げして財源はあるではないか。138億円も一気に積み立てている。やる気になれば18年度からでもやれる財源もあることを指摘して質問を終わる。